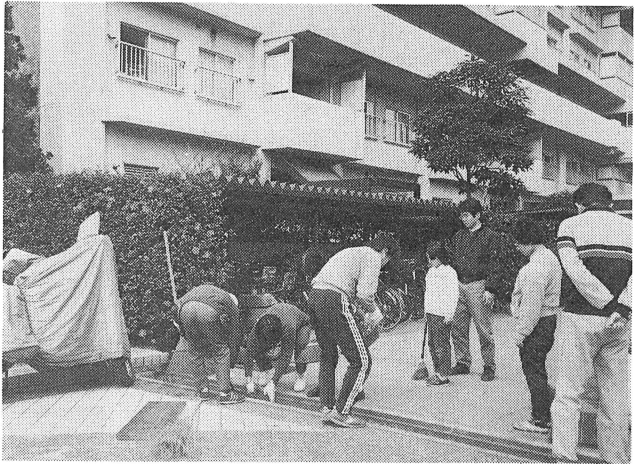




第82号 (8期第9号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話 03 (3938) 9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

ゆり北

第二回自治委員会開催される
駐車場問題・共益費値上げ等(賃貸)

一月十三日(日)午後一時より、第三回自治委員会が開かれました。また当日は、自治会新年親睦会も行い歓談しました。

今回の自治委員会は、十月六日の第二回自治委員会以後の約三ヶ月の活動について報告し、今後の取組について話し合いました。

この日は出席者が少なく役員十三人自治委員六人という状態でした。

▼渉外関係(要旨)

●板橋西清掃事務所の清掃功労者として、ゆりの木自治会が決まりました。自治会としては、「ゆりの木会」を推薦しました。

●町会・自治会区域の世帯数に、ゆりの木東団地の板橋区部分が含まれることになりました八六一世帯(前年比十八世帯)になりました。

●(仮称)赤塚福祉園が建設されることになりました。場所・赤塚六丁目十九番。(赤塚出張所近く)

●(自治協関係)第二回「団地の生活と住まいの要求アンケート」実施
時期 九月～十月
対象 賃貸住宅(百二十一戸)35・5%回収

●公団東京支社懇談会
十一月十五日午後六時～八時
十一自治会十八名、支社管理部長十九名出席、東京支社(光が丘連絡協関係)

●光が丘総合病院の経過と問題点
今後の方向について、練馬区長と懇談会を行いました。十一月十一日(日)光が丘区民センター。

十八団体二十一名参加。

練馬医師会が経営しているが、九十億円の負債をかかえギブアップ。今後は大学が引継ぐとのこと。

●光が丘高校南側の駐車場計画を推進するため、光が丘高校側も含めて協議に入った。

▼住宅対策部

●公団に対する要望事項の実施状況

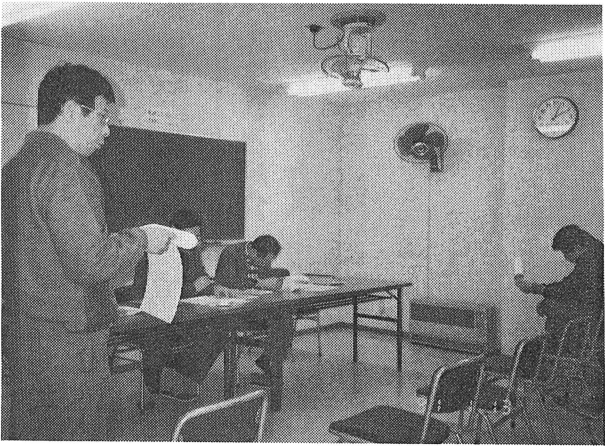
① 一号棟南側の植栽の実施

② 十二号棟北側の植栽の保護対策の実施

③ 十一、十三号棟のドアポストの改修の実施

●賃貸部分の駐車場の増設計画

① 基本的な考え方としては、自治会及び光が丘連絡協の要望に



基づくもの。東京支社の施工。駐車場率を各団地とも五十%程度に引き上げる。

② 当ゆり北団地の増設計画

十二号棟の北現行十二台の所、三段式にし二十五台にする。十二号棟南、現行三十七台の所、二段式にし四十七台にする。増設計画合計二十三台、工期一月～六月。

料金については、現在の利用者は据え置く。増設による新規契約者は新料金(一万六千円程度)一号棟の北側は、平成三年度以降実施する。

●賃貸住宅の共益費値上げについて、現在三千三百四十円を四千八百四十円とする。千五百円(約四十五%UP)

▼広報部

●新しい時代への話し合いの場にしたので意見や原稿を送ってほしい
●新町小学校の山下教頭先生に童話を連載してもらう予定

▼環境・防災部

●防災体験学習
十一月十一日(池袋防災館・六名参加)

●自転車整理回収

十一月二十五日 荷札自転車一、七六七台、バイク九四台
十二月九日 回収自転車一六七台、バイク一七台
●大そうじ会、十二月十六日

駐車場(賃貸住宅)が増えます(立体化工事おしま)

賃貸住宅の駐車場増設については、公団への改善要望の重点の一つとして、毎所要請を行なって来ました。駐車場問題が全国的に注目される様になり、光が丘では練馬区議会の市街地特別委員会、住建三者に具体的な対応を求める動きの中で、公団東京支社が建設費の枠の中で光が丘の駐車場の増設(立体化)をする事になりました。

すでに九月に、大通り南団地が第一次対象団地として整備を終わりました。引き続き、平成二年度工事

(約三五〇名参加)

●歳末パトロール
十二月二十日～三十一日実施
(のべ一〇〇名参加)

●防犯のためのステッカーの取り付け実施(全自転車置場)

●今後の取組みとして
自転車の処分(二月予定)

●総務部(会計・事務局)▲
会計中間監査の実施(一月九日)
正しく行なわれている旨、監査を受けました。

平成2年度一般会計収支			
90.12.16現在			
収入の部			
単位:円			
予算額	現行額	収入予定額	
2,612,939	1,789,753	823,186	
支出の部			
単位:円			
予算額	現行額	収入予定額	
2,612,939	1,503,579	1,109,360	
特別会計今年度積立			
単位:円			
90年度積立実施額			
	187,733		

●自治会未加入者への加入のお誘いに取り組み。

●自治会費の振込による支払方法の呼びかけを行う。

●第五回ゆり北文化展。(十一月二十四日(土)二十五日(日))に、五号棟及び十二号棟の集会所と十号棟のピロティの三会場で行った。百十三名の方から、百五十五点の出品がありました。

以上の報告に対し、いくつかの意見が出されました。

Q 自転車置場のポスターは、もっと大きく、めだつものが良い。

Q 会費の振込支払は、何度もお願ひしているが、なかなか増えない。訴える方法を工夫するべきだ。

A これらの意見に対しては、改善の方法を再検討して対処する旨、答えました。

Q 共益費の値上げについての質問で、経費が大きく増えている部分があるが、なぜか。

A 公団の説明によると、排水管の清掃は今まで三年に一度行っていたが、今後は毎年行う。エレベーターホールのワックスがけを(各階)行うことにしたとのこと。

Q 廊下のシート交換は、いつになるのか。

A 年度末の予算の使用残の関係で行なわれなければ、来年度になる。

A 追加の報告として、最近中水道の縦管のバルブの部分で腐食して水漏れの事故が起きている。中水の酸性度が強いのが原因である。公団とも話し合いを行っている。

自治委員会の後、自治会新年親睦会に移りました。

の一万六千円程度が予想されます。現在駐車場の待機者は五十台程度のことで、この工事だけでは待機者の半分も解消できません。

引き続き一号棟北側のNo.1地区、No.4地区の立体化工事が平成三年度に行われ、駐車場率五十%になる予定です。

自治会では工事にあたっての要望を、六項目、運営にあたっての要望を三項目にまとめ、住宅都市整備公団および団地サービズに提出しました。

共益費改定されます

一ヶ月四千四百四十円(賃貸住宅)

住宅・都市整備公団は、ゆりの北団地の賃貸住宅に係わる共益費について、別表に表示されるように現行の一戸当たり月額三、三四〇円から同四、八四〇円への増額提案およびその説明会を経て、今年四月から実施することになりました。

公団側は、こうした共益費の改定に関して、今年一月十日に当自治会役員会に、同月二十一日には対象居住者にたいし説明会を実施してきました。その説明会により、共益費の運用は、当該団地ごとに収支計算をおこない、基本的には三年ごとの見直しを実施してきています。そして、ゆり北団地では、昭和五十八年の建設当時は、支出概要の正確な把握が困難であったことから、若干高額の一戸当り四、六五〇円とさ

れていましたが、三年後の同六十一年度の収支状況では引き下げ運営が可能との判断から、同三、三四〇円(引き下げ額は一、三一〇円)に値下げしてきました。また、同六十四年度の改定年には、収支状況を検討したところ、当面は改訂しなくても運営が可能との結論から、平成二年度までの五年間を同額で運営してきました。しかし、平成二年度の収支決算では、約二七〇万円の赤字発生が見込まれ、今後その赤字が増大するとの見直しから、平成三年四月より前記の値上げ提案となっています。共益費改定説明会の資料として提示された「共益費運営計画表」は、紙面の関係で転載できませんが、平成五年度までの各年度ごとの収支試算が掲載されていました。そして、

共 益 費 の 推 移

改定年度	金 額	差 額 (増減%)	備 考
昭和 58	4,650	-	当初設定額
昭和 61	3,340	-1,310 (28.2)	現 行 額
平 成 3	4,480	+1,500 (44.9)	改 定 額

その試算表の特徴としては以下の五点があげられていました。

① 運用計画内容(支出内訳項目)はこれまでと同様であり、新たな支出項目はないこと。

② 水道や電気料等の公共料金は、現行金額水準で据え置きとされ

ふるさと紹介

故郷の正月(北海道)

私の故郷は北海道。今では東京の生活の方が長くなったものの、降りしきる雪と、ピーンと張りつめた寒さ、痛さは、今もはっきりと想い出されます。

そんな中でも正月は子供心にも楽

童話その2

ゆりの木通り

赤塚新町小学校教頭
山下 次 雄

今、真冬。すっかり、枯木通り

た。人には、「デデッポー」ときこえるのだそうです。

「なあに、ヒヨドリは大丈夫。元

私たちが葉っぱがみんな落ちた

に山を飛びまわっているさ。それより、あの子づれのカワラヒワが

「台わんでしたね。外国でしょう

キジバトが二羽、毛づくろいをし

きよ年の夏、私たちの枝に巣をつ

「ねえ。あのヒヨドリさんたちど

ヒヨドリ・カワヒラの鳥たちは、寒

うしているでしょうね。」

で、別れていきました。キジバトだ



ていること。

③ 一般清掃費に関わる人件費(現行四人)と諸物件費については、それぞれ各年五・五パーセント、三・〇パーセント増で試算されていること。

④ 排水施設維持運営費が、これまでの年間約二十四万円が同六十万円台に増額されていること。

⑤ 団地内共用部分維持運営費の中の特別清掃費が年間約十八万円から同三十万円台に増額されている。以上の五点となっています。ただし、④の排水施設維持運営費の

増額は、各家庭の専用管(流し台・風呂・トイレ等から集合管までをいう)をこれまでは三年に一度の割合で清掃していたが、建設八年目を迎える今年度からは、毎年清掃を実施する必要があるとの判断によるものです。また、⑤の特別清掃費は、これまで外灯等を年末に、さらには年四回の床掃除に要した費用に加えて各階のエレベーターホールのワックスがけを実施するための増額となっています。以上の経過および実施計画によつて、平成二年度末の約二七〇万円の

十二号棟 原 島 敏 子

い、また新たな気持ちで新年を迎えられる様、大人達は鍋やおせちをつつきながら酒を酌み交わし、子供達はひさびさに見る御馳走をそれこそわき目もふらずひたすら食べるのです。父親の差し出す「お年玉」を待ちわびながら……。

年越ソバも地域性でしょうか。我家はいつも「鍋焼ソバ」でこちらでザルと知った時は驚きました。

お腹も懐も満腹状態で『年取り』の夜は幸せ一杯でした。

明けて元旦。雑煮を食べ、一日のんびりと過ごします。年始客は二日から来始め、子供達は書きぞめをしたり、カルタや凧あげをして遊ぶのです。その後のモチのおいしかったこと……。

今、こうして振り返って見ると、本当に素朴でのかな正月でした。あの当時のことは望むべくもありませんが、今年の正月はすこし、のんびりと過ごしたいと思います。



編集後記

今年は正月草々から湾岸戦争でのきな臭い話題でもちきりでした。湾岸危機がなくても世界的な不況に入りつつあるわけで、それに追い打ちをかけたような形になっています。現在の米国には、昔のような力が既になく、血と汗を伴う湾岸での持久戦は耐えがたいものと考えられます。新年早々米国へ出張しましたが、その時感じたのはとりわけ適齢期の息子がいる親は、いつ息子を徴兵されるのかビクビクしていました。それに比べ、日本では戦争への直接参加がいなくても大変幸福と言わざるをえません。従って、この辺で本当に日本の「出来る事」をまじめに考える時期に来ていると思います。

是非「ゆり北」に投稿を!

皆様方からの投稿を心待ちしています。問い合わせ先

- 三・四〇四福田 三九七五―二四一三
- 十一九〇五竹内 三九七七一―九三四〇
- 十四一四〇九堤 三九七七一―七二八三
- 一六〇五島田 三九七五―五七三三